日刊　昭和25年10月6日
【1】「除月曜」第三種郵便物認可　運輸省特別扱承認第684号　磐城日日　昭和28年（1953年）8月30日（日曜日）　第919号

磐城日日
発行所
磐城日日新聞社
福島縣小名浜町渚廻51
電話代表387番
編集兼発行人　長瀬壽一

雑誌・機關紙
チラシ
事務用印刷物
長瀬印刷所
TEL 219・387

波亂を呼ぶか町村長会

カギをニギる矢吹町長

鹿島合併大詰の様相

石城町村長會（会長高木武一郎氏）は三十一日午前十時から地方事務所会議室で開かれるが同時に先般發足した石城地方自治確立推進審議会としての線が打ち出されるものと注目を集めている

小名浜町議会市制施行準備委員会、各種常任委員長は去る四日の会合で湯本町との對立を避けてすべてを審議會に一任する申合せを行っているが、果して湯本町がその線に決裁をまかせるか　また町村長会がこの問題にピリオドを打てるだけの強力な力を持っているか否か

鹿島合併問題は去る村議会協議会に於て態勢を表明して以來、愈々大詰に來たつた様相を呈して來たが、解決の鍵を握るものは一つにかかつて町村会長に於ける矢吹湯本町長の態度如何にあると見る向きも強く、矢吹町長の存在は大きくクローズアップされて來た

（寫眞は矢吹町長）

鹿島村状は混とん

六村議に違背の聲强硬

鹿島村議会、去る十九日の協議会の決定を不満として副議長長瀬貴氏他箱崎憲一、江尻稔、佐藤榮一郎、長瀬一郎　高萩猛雄の六村議に松久須根區長鯨岡善孝、上矢田長瀬一晴、下矢田坂本全司、三澤長瀬忠雄の五部落區長が連名で若月地方事務所長宛小名浜合併反対要望書を手渡して村協議會の申合せを破棄した行爲は複雑な鹿島村状を更に紛糾させている

協議会の無記名投票に現われた数字の五に對して今日の反対署名村議が六という数字を示めしていることとも村議の一部が小名浜と湯本間にあつてのデリケートな動きを示すものと注目されて來た湯本町某要人は村を統一して小名浜合併を促進すると云う協議会の申合せに對して松久須根など湯本合併を主唱する部落を割つても強力に合併を推進すると語っている處から相當强硬に最後の追込みをかける模様である

一方鹿島村議会の權威を冒瀆し協議会の決定を破棄した六村議に對しては何らかの手段をとるべきであるとする强硬意見も村内一部に起つており、大詰に來て落着が目前に見えた鹿島合併問題は一層複雑な内情を露呈して混沌を續けている

しかし客觀的に湯本派と稱する五部落内にも小名浜合併に賛成する者が相當あり、村を二分しても と云う湯本の思惑通りには行かぬから小名浜との合併は最早や時間の問題とする樂觀的な見方もなされている

早期復期せよ　泉町

縣の指示をまつ　小名

復旧急がれる藤原導流堤

去る七月十日早曉玉川農民によって行われた所謂〝藤原川事件〟によつて破壊された河口導流堤はそのまゝに現在に至つているが　その早急な復舊は地元劍浜漁業協同組合（組合長瀬内進氏）の强硬な陳情などもあつて泉小名浜両町間に話合いが進められている

藤原川口導流堤は常磐炭礦等による汚水或いは炭塵などの爲劍浜一帶の海藻、魚、貝類が死滅して漁民の生活を破壊する迄に至つた爲地元民の要望に依つて縣が二百万の予算を計上して昭和二十六年に完成したものであるが、その内百万は地元負擔として劍浜漁協が大部分を支出している關係上事件直後同組合は非常に憤激したが、泉町議会も小名浜町當局に對し次の決議事項をもつて復舊方を要望した

①河口導流堤は当町としては有効且つ必要の築堤と確認するを以て速かに原形に復して下さい

②復舊工事費金額は貴町負擔のこと

③復舊工事遲延の原因に基く損害は貴町に於てその金額を賠償すると

④今後藤原川治水對策については貴町並に当町一致協力し再び今回の如き事件を惹起せざる様努力する事

この問題に關しては小名浜町は事件直後の陳情に際し導流堤の處置については縣に一任してある處から次の様な回答を行つて、縣の指示があれば復舊の負担は小名浜で負う事を傳えている—

①及び②については縣の指示によって原形に復する場合には勿論当町に於て負担する

③についても縣よりの指示によりたいと思う

④今後の治水については兩町協力して對策を講じたい

泉町ではこの回答に基きこの程縣当局に對し早期復舊の陳情書を提出した

今日の主張　①

小名浜、鹿島、湯本

三者会談を提唱する

鹿島村をめぐる合併問題は愈々大詰の様相を呈して來たが、小名濱町對湯本町の對立抗爭は抜き差しならぬ破目に迄陥むのではないか、と云う事が先づ第一に鹿島合併をめぐる諸問題中腦裡に浮ぶのである

古諺に「両雄並びたゝず」と云うが將に小名浜、湯本は常磐工業地帶の兩で雄あるかも知れない

しかも都市形成要因が異なる上に目的を一にしている處に對立を余儀なくされる原因を伏在させているのである

湯本は文字通り湯と炭礦により小名浜は港と魚に依つて形成されて來た、

しかも兩者共湯本は石炭による工業化、小名浜は港による工業化とその目標とする處は二十世紀的工業都市にある

轉じて鹿島合併を見るに小名浜は早晩近接町村との合併を行わねばならぬ趨勢にあつたと觀じてよい、爆發する火山は弱所を衝く、適切な比喩ではないが鹿島が最も弱わかつた、合併の趨勢は当然鹿島村を目標とせざるを得なかつた

しかし一方湯本に於ても町勢の根本義と云うかバツクボーンと云うか弗箱常磐炭礦の將來を觀ずるに、鹿島礒を中心として鹿島村に至る事は三才の童子にしても判ずる處であり常磐炭礦と共に生き運命を共にせねばならぬ宿命にある湯本町にとつて、鹿島を小名濱に渡す事はとりもなおさず湯本町の弗箱を小名浜に渡す事になり、それは明らかに湯本町の衰微を意味する事になる

矢吹町長ならずとも鹿島合併に身命を賭さんと決意する事は、それは只單なる選挙民の人氣取りに非ず町民としての當然至極の事と云い得る

一方鹿島村民とすれば両者をもつて何れも兄とし難く弟とし難いのはこれまた当然と云い得るのではなかろうか、鹿島村議会協議会は九對五をもつて小名浜合併の線を打出したがそれに反對して湯本派村議六名（協議会の無記名投票に現われた五名の數字との差はとゝで伏せる）と五部落區長は連名で若月地方事務所長宛に要望書を提出している

何を持つて何とするか、村状は將に紛々たるものである

かゝるが如き現況は果して何處に何を齎すものであろうか!!

地方民の幸福は那邊に存するであろうか!!

小名浜町民は一人小名浜にのみ存するものではあるまい、小名濱町民の發展は廣く常磐地區の發展を通じてのみ存ずるものである

湯本、鹿島と云えどもその範チユウからまぬかれるものではない

〝争わずして和せよ〟これぞ地方發展の要諦と信ずる

共存共榮を圖ることとこそ湯本、小名浜のそして常磐地方の發展策と信ずる

一切の感情を排して三町村が一堂に会しての、腹臓なき談合こそ共存共榮の途を拓く唯一の方途なりと信じ敢えて三町村会談の開催を提唱するものである

眼科
赤石沢医院

天氣豫報　30

（本日）北東乃至東の風曇りで朝晩小雨も降りますが日中は多少薄日も射しましょう

（明日）東寄りの風、曇りで時々俄雨が降りそうです

（海上）北東の風　多少うねりもあり風波もやゝ高く明日は東寄りの風で時化氣味となりましょう

魚菜市況　29

（小名浜中央青果市場）

卵一〇〜一五、七大根一〇〜八〇玉菜八〇〜一〇〇玉ねぎ六〇〜七五なす八五〜一四五馬鈴薯五七〜七〇とまと七〇〜一五〇きうり五〇〜一四〇とうぎみ（本）三〜六人蔘一〇〇〜三〇〇なた豆三〇〜一七〇甘諸七〇〜一六りんご一五〇〜二〇〇桃三五〇梨一六〇〜一八〇

（魚市場）

かつお四八〇冷いか三五

純毛洋服専門
生地よし……仕立よし……デザインよし……着心地よし
大井洋服店
福島縣 小名浜町 TEL630
茨城縣 太田町 TEL531

洋服の店
都服装店
小名浜町電二五一

輪界ノ名門　第一位通産大臣賞受領
マグネット号自轉車
代理店
强力トヨモーター及び各種モーター取扱店
只今月賦販賣の御相談に應じます
高橋自転車店
小名浜町横町（マスガタ）

バンコクミシン
月払2,000円ヨリ
御相談に應じます
チケット御利用下さい
大和田ミシン商会
小名浜町西町

募集
外務社員数名
年令30才以上（男女可）
本人履歴書営業所宛郵送下さい

月掛で家が建つ
堅実本位の日本建物
建築の福音!!
家が月掛で抽籤も入札も無く早く申込めば早く建つ東北一の月賦建築住宅は甚より店舗工場増築改装修理一切大小に拘わらず賣貸地相談にも御利用下さい
御結婚にはぜヒ月払証券御持参で!!
御申込み次第営業案内御送り致します
平市大町三番地（電五八〇）
建設大臣登録（ロ）第九六二号
日本建物KK平営業所
所長　大樂弘
本社　仙台市
管内出張所
湯本町三函一五〇　電話三〇三・一三一番
小名浜町下町一八
植田町字本町　電話六二番
専属工事人・連絡所
小名浜町上町五六
小名浜土木株式会社
一級建築士　坂本二郎

長山電機商会
小名浜町本町五八　電一六五

毎度有難う御座います
百円以上御買上げ毎に全商品の割引券を差上げます
新製品
マツダ　ナショナル
螢光灯スタンド各種
螢光灯と
御家庭用に螢光灯電球を

チケット歓迎
皆様の店
平マーケット
小名浜第二小学校前　電三七
お買物には先づ平マーケットを思出して下さい私共は常に貴方の御相談相手として待機しています
海に山にスポーツ季節
野球帽ユニホームグロブ
輕快な婦人サンダル白靴
婦人帽パナマ帽ミルキー
開衿オープン、カツター
旅行にボストン婦人手提
ブラウス子供服、学生服
パラソルと洋傘学童用傘
学生用開衿女性着ズボン
化粧品柳屋メヌマ ジユジユパピリオ　80円
海水着海水パンツ海水帽
東京本染ゆかた各銘柄品
菓子切手葉書印紙たばこ
ちどりフトン綿、夜具地
經費をかけずに良い品安く

参議 宮城女史講演会

小名浜は三日一小講堂

参議院議員宮城たまよ女史の児童、婦人問題に対する講演會は次の日程で石城郡下に行われることになつた

◎平市公會堂、二日午後一時より

◎内郷町、同日午後三時より

◎湯本公民館、同日午後五時より
夜湯本に宿泊し地元婦人団体との座談会

◎小名浜町、三日午前十時より

◎四ッ倉小学校講堂、同日午後四時より
同地宿泊夜地元婦人団体との座談会

宮城縣参議の講演会は去る郡保護司協議会で議題となり、各種團体共催で招聘することになつたもので、小名浜町では町役場、教育委員会、保護司協議會、婦人会、未亡人会などが主体となつて三日午前十時から第一小學校講堂に開かれるが、宮城女史は八時に湯本の宿舎を自動車で発つことになつているので、これを機に大きく中央に運動を展開している小名浜港を紹介しようと町長、議長など町要人が案内にたつことになつている

また講演内容に児童婦人問題、殊に勤労婦人、産兒問題などについて参議院議員としてのウンチクを傾けることになつており、相当の盛会が予想される

港灣運送事業法一部改正で

小名濱は第三群港に

こんど港湾運送事業法一部改正により、今まで適用を受けなかつた小名浜港が第三群港になる見込みとなつた

本法案は七月下旬衆、参議両議院を通過、九月十五日施行予定の見通しがついたので適用される小名浜港關係会社は次の法令に基き、次のような施設、人員を具備しなければならなくなつた、その法令によると

①登録基準として上屋五〇〇坪　又は野積場一〇〇〇坪以上

②現場職員二名以上

③左の各号の一に掲げる施設及び労仂者

イ、キーマン及び平人各四名以上

ロ、モツコ、スリングその他の器具及び器材一口分以上

ハ、沿岸労働者七名以上

ニ、機械一台以上

以上によるもので第三群港としての全町にある港湾運送　埠頭の両會社は急據、法に適するよう運営するものと見られる

みどり丸乗組員の霊に捧ぐ

日本水難救護會縣支部長　三代義勝

「災難は忘れた頃にやつて來る」と申されておりますが、私は是れを「災難は忘れないうちにやつて來る」と訂正せさるを得ないのであります

本日さきに遭難殉職と推定されました石城郡四倉町鈴木常松氏所有鰹鮪漁業船〃みどり丸〃乗組全員、事務長浜口喜太郎、船長浜地守一、漁撈長山本長太郎、機關長守秀一無線局長高橋芳夫諸氏以下五十氏の慰霊祭が行われるに当り、日本水難救済会福島縣支部を代表致しまして謹んで弔辞を述べたいと存じます

さる八月二日午後八時の無線連絡を宮城縣金華山東二五〇浬附近に於て発したのを最後として行方不明爾来空海陸呼應しての晝夜を分たぬ血みどろの一大捜索にもかかわらず同船備付けの漁具である釣竿及び船体の一部である操舵室の屋根を前後して發見するに及んで遂に乗組總員は船体と運命を共にせるものと認定されるに至つたのであります

顧みますれば四面海を以つて圍まれている我が國は昔より漁撈に長じ数千浬の波濤を開拓したるとは歴史が證明しておるのであります、即ち木の葉のような漁船をあやつり遠洋に進出し風浪に堪え堅忍事に当る勇敢さは絶対に外國人の追從を許さないのであります

然しながら其の出動中、時として遭難の惨事に際会したる例も無いではありません、みどり丸は東北海区の主漁場である金華山沖合に於て鰹一本釣漁業操業中天候激変し附近一帯は疾風怒濤の襲来するところとなつたので直ちに退避行動に移り乗組全員力をあわして必死の努力を傾け必ずや苦闘よく艱難に堪えしは疑いなきも　大自然の猛威の前には抗する術べもなく人力の到底及ぼざるを知るや降り注ぐ飛沫も春の落花、荒れ狂う波浪も錦のしとねと眞に沈着無比崇高なる犠牲的精神のもと從容として死につかれたことゝ推察されるのであります

（つづく）

母子寮で観音供養祭

小名浜町母子寮（十九世帯）では旧十九日如意輪觀音の縁日に當つて二十八日午後二時から亡夫、先祖の位牌を母子觀音像前に安置し小名浜佛教會の篤志を得て故人の冥福を祈ると共に母子觀音を供養して母子寮全世帯の健福を祈願し、終つて厚生課鉄主事、民生委員数氏らを圍んで和やかな懇談会を開き有意義な一日を送つた

他校に先がけ『蟲供養』

三十日小名二小で

好評の校長作詞発表

既報のように小名浜第二小學校では ながい夏休み中 職員も児童たちも昆虫標本作製のため、多くの昆虫を殺したため、これら小さな虫にさえ尊い生命が宿つていることを思うとき、ジツとしておれない衝動にかられそして虫たちは私たちの研究に貴重な資料となつてくれたことに對して感謝を捧げようと各部落緑蔭子供会から選出された藝能發表により「虫供養」を行いその霊を慰めたいと三十日（日曜）午前八時半から全十時半まで講堂に開き、つづいて正午まで子供会の反省会を行い、午後は夏休作品展一般参觀など行事は盛大に開かれる

なお他校に見られぬ「虫供養」には各代表たちが焼香をし、續いて学校長の「お話」次いで藝能發表、プログラムにはダンス、紙芝居、齊唱その他が豊富に織込まれ、父兄やお母さん方に参觀して貰おうと児童たちは今からハシヤいでいる

またこの程鈴木校長が多用のうちに次のような感動余りある「虫を弔う」作詩が成つたので当日一般にも御披露するとか—

虫をとむらう

作詞　鈴木　校長
作曲　半谷　教諭

一、つくつくぼうしが
木の枝で
つく〱樂しと鳴いて
いる
いきなり網でおさえた
ら
つく〱悲しと鳴きま
した

二、バツタもバタ〱
逃げだした
草の野原に逃げだした
逃がしてなるかとおさ
えたら
バタ〱あばれており
ました

三、ちようちよがひらひ
ら舞つている
夢の園生にまつている
夢を破つちやわるいけ
ど
とうとうちようちよも
とりました

四、バツタよ、せみよ、
ちよう〱よ
さぞや痛かろ悲しかろ
お前の命を役立てる
眞理の空の星となれ

基督（キリスト）教傳道会

きようから小名浜で

本月九日より十六日まで東京に開かれたキリスト教プロテスタンド全世界傳道会議には中央紙報道の如く二十カ國より約千名が参集して盛大に開催されたが、この会議閉幕直後の十七日より九月一日までの二週間、参会の一行は各班に分れ全國一齊に悩める人々を救うべく傳道集会の活動に入つた

本縣へは中通り、浜通りの二班が組まれ、浜通り班には米國牧師スイムコー神父　加國傳道師レスター神父ほか通譯が傳道することになり、その傳道最終日の三十、三十一の二日間、午後七時より小名浜町ハトバホールに盛大に開かれることになつた

このため一般青少年より慈父の如く親しまれている小名浜町諏訪町居住のキリスト教牧師フランク・コングステイン氏がこと数年來、混濁のこの世を麗わしい清美の國へ道こうとひたむきな傳道に懸命努力を續けて來たがこの千載一遇とも云うべき各國代表を迎えての大傳道を有意義に終らしめようと全会員竝通譯らと共に各地に呼びかけている

大傳導会の三十日、三十一日には午後四時より全町上明神町二〇番地にあるコングステイン神父の福音教會でフランネルグラフを一般の觀覧に供することになつている（いずれも入場無料

また二十九日午後五時全町地先海水浴場に於て洗禮式を擧げる

品質本位・新柄の店
樋口呉服店
小名浜町　電二〇四

買クスリなら
佐藤のホミカロード
長生堂薬局
小名浜中島　電三七〇

映画

総天然色

榮光何するものぞ

第二次大戦中ドイツ兵の心膽を寒からしめたアメリカ海兵隊の二勇士を描く歴戦の古顔者フラツク大尉（ジエムス・キヤグニイ）とクワート曹長（ダン・デイリイ）に見る傳統的アメリカ海兵隊魂とその底を流れる温い人間味、激しい戦争の舞台裏にくり展げられる人間喜劇、美しいフランス娘をめぐる二勇士の戀の達引虚々実々のお色氣合戦

関の弥太ッペ

一宿一飯の義理に生きる渡世人、関の彌太ッペ（黒川彌太郎）五十両の金を盗んだ男を斬つてお小夜と云う娘の行く末を頼まれた、股旅やくざ關の彌太郎に十年の月日が流れて—

ふと旅先で聞いたお小夜の美しい成長振り、吉野小町と謳われるそのお小夜が命の恩人である自分を探し求めていると聞いて訪ねて見れば、意外かそこには同じ渡世人が自分の名を僞わして乗り込んでいた、もつれる戀、義理に曲げない男心の切なさ、痛快で涙のにじむ人情篇

二九日—一日マデ　磐城座

西部の男

馬泥棒の嫌疑でコール・ハントと云う若者が捕えられて判事の許へ連れて來られ、彼は判事が女優のリリー・ラングトリーに憧がれているのを知り自分はリリーを知つていて彼女の髪の毛を持つているとウソをついて判事と親友になる、ピーン判事は牧童に命令して農場を焼払い町の名をリリーに因んでラングトリーと改め振舞する

コールは焼打の黒幕が彼であることを知り、保安官になりリリーが公演する劇場で拳銃戦が展開、ピーンはコールの弾に斃される

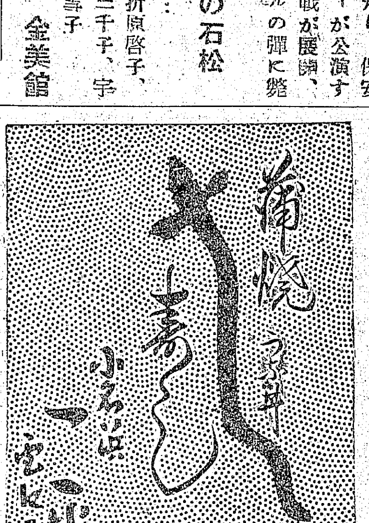
續魚河岸の石松

…キャスト…
河津清三郎、折原啓子、星美智子、河三千子、宇佐美淳、島峰雪子

三〇日—一日　金美館

29日まで
西部の男
魚河岸の石松
上映中
金美館

胃腸恢復に!!
強力消化栄養劑
僕も
私も
パンターゼ錠
是非一度パンターゼ錠を御試用下さい。必ず貴方を胃病より解放することでしょう
サイトウ薬局
小名浜町松の中　電六七八



外科
内科
性病科
草野醫院
草野道平
野間道正
小名浜町中島（電話局隣）
電話小名浜九九番

弊館新築の粋を凝らした別館大廣間

旅館割烹
若葉館
小名浜町隼人水素驛前
電話三五〇番
◎御座敷女中募集（若干名）